

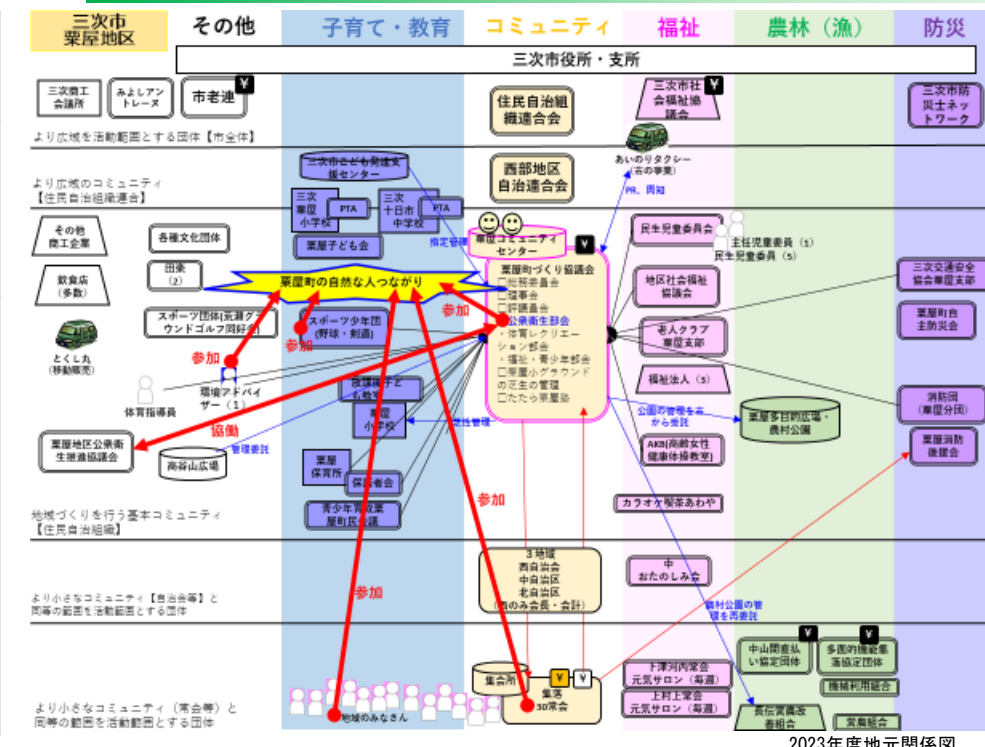
栗屋

栗屋町の自然な人つながり

01 取り組み概要

実施主体	栗屋町づくり協議会
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 栗屋の自然を守り続けたい。 気軽なボランティア活動に参加してもらいたい。 人つながりを次世代へ継承してもらいたい。
内容	昭和40年代から始まった栗屋町民による毎年6月の「高谷山広場」の草刈り清掃、年2回各常会単位でのポイ捨てゴミ収集と不法投棄物パトロール、栗屋町民による3月の不法投棄物集中回収の各作業を通じて、大人・子ども・近隣・住民同士での「栗屋町の自然な人つながり」を今後も次世代へ継承していくことを期待しています。

02 取り組み体制



03 特徴・工夫

- シンボリックな高谷山、身近な常会の自然環境を守る
 - 全町レベル共通の高谷山
 - 町内での不法投棄ポイントの選択と集中した回収復帰
 - 日常生活レベルの常会・近隣
- 子どもを含めた作業を通じて全町民が集える
 - 参加できる全町民の共同作業
 - 近隣互助の共同軽作業

04 成果と課題

成果

- 「継続は力なり」です
違和感のない習慣、無理のない活動作業で環境保持になっている。
- 紡ぎ合う「縦の糸と横の糸」
大人から子どもへ、隣りから隣りへと紡ぎ合う機会になっている。

課題

- 継続させるためのあり方
世帯減少、高齢化による参加者の減少傾向のなかでも続けられる方法の模索。
- 高谷山広場に関する参加を広げること
栗屋町民だけでなく、高谷山に関係する団体や個人ボランティア、関係交流人口にも参加してもらえる仕掛けとネットワークがつけられたら。

05 取り組みの様子



常会単位で一斉清掃
常会単位で6月と11月の年2回、空き缶・散乱ゴミ等の追放キャンペーンと併せて不法投棄物の探索パトロールをします。



スポ少も高谷山へ集合
毎年6月の最終日曜日、高谷山広場と周辺の草刈りと散乱ごみの回収です。大人は刈り払い機、子どもは歩いて草むらの散乱ごみの回収です。



栗屋町の横つながり
常会から通報のあった大量の不法投棄物を地元常会だけでなく、広く栗屋町内からも協力連携、参加してもらいます。



常会の時に併せて学習
環境アドバイザーを招いて常会の寄りに併せてゴミ分別の学習です。



次世代(縦)へつなぐ
素晴らしい霧の海と日の出、三次の市街地と遠くまで続く山なみを一望できる山紫水明の名所。一斉清掃作業のあとで展望台に上がり、素晴らしい景色を眺めて思い出を重ねていきます。



1,280kgを回収
3月第一日曜日に回収した不法投棄物は1.28トンもありました。少しでも再犯を抑止するため、監視カメラと監視中看板を取り付けました。

声

- 住民の
- ☆ いっしょの活動作業で隣近所づきあいでいるかんじです。
 - ☆ ひと昔前に比べて、地道な取り組みでゴミもわりと少なくなってきたかも。
 - ☆ 大人と子どもが一緒に活動作業は栗屋町を大事にする気持ちになります。
 - ☆ きれいなスッキリところが癒されます。

声

- スタッフの
- これからも時代と次代をつなげていきます。
 - 振り返れば結集・継続したみんなの力だと思います。
 - 活動・作業は「ひとを大切にする」ことだと思います。